

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」石川県庁前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者様の特性に合わせてスペースの確保を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		職員配置基準に則り適切に人員を配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個室やフロアを使用するなど、事業所内の環境を整えている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃や消毒作業を徹底し、環境の保全に努めている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定期的にミーティングを行い、職員間での情報共有の機会を設けている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートで寄せられた意見を職員内で周知し、業務改善に活かしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内で評価結果を周知するとともに、結果をホームページ上にて公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		連携先の発達支援研究所が主催する研修に参加し、資質向上を図っている。また、行政が主催している研修に今年度も参加している。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		利用開始前に行うアセスメントで得た利用者様の特性等の情報や、相談員からの意見や情報を基に計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		会社で決められたアセスメントツールを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		利用者様や保護者様のニーズに合わせて支援内容を設定している。相談員との連携や情報共有を通して、ご家族様の相談にものり、助言等を行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		作成した計画に沿って、支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的にミーティングを開き、全職員で計画の立案及び見直しを行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者様の状態や特性に応じて、柔軟にプログラムを変更するなどして対応している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別療育だけではなく、小集団イベントを開催し、他児との交流を図るなどの工夫を行っている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼での情報共有や支援前の打ち合わせ等で、支援内容の確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼での全体周知や、支援後管理者に報告するなど、情報共有の場を設けている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回の支援記録を作成し、支援の検証・見直しに繋げている。	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリング会議を開催し、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参加する事がほとんどではあるが、利用者様の状況によっては担当指導員も参加し、より丁寧な情報共有を行っている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて相談員や他機関との連携を図っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		ご家族からの要望がある際に行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		ご家族からの要望がある際に行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて情報共有や助言、研修を受けている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		小集団イベントで他利用者様やそのご兄弟(姉妹)との交流の機会はあるが、支援としては行っていない。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		2023年11月の金沢市主催の事業所連絡会に参加している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の情報共有や支援後のフィードバックを丁寧に行うことで、利用者様の課題の共通理解に努めている。	

保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		ご家族のご相談に対応する事はあるが、ペアレントトレーニングは行っていない。
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に説明を行っている。また、利用者負担額について問い合わせがあった際には対応している。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やモニタリング会議後に作成した個別支援計画について説明し、同意を得ている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて保護者様の相談に応じ、今後の支援方針や対応について話し合っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		以前は、保護者様同士が交流する会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症流行後は、感染対策として開催を控えていた。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、来年度以降は保護者様の要望等も確認し、再開を検討する。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や苦情等の申し入れがあった際は迅速に対応している。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的にホームページ上に小集団イベントの様子を掲載したり、防災訓練等の様子をお知らせしたりしている。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は鍵付き書庫で保管している。外部に情報を提供する場合は保護者様に同意書を頂いている。

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的ツール等、お子様やご家族の状況等に応じて対応している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民参加型のイベント等に行っていないが、地域の店舗や園・学校などにイベントチラシやパンフレット等の設置に関する挨拶に回っている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを職員に周知している。保護者様向けに感染症拡大防止等のチラシを掲示している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		地震や火災等の非常災害に備えて定期的に訓練を行い、その様子をホームページで公開している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始前のアセスメントの際に、保護者様に確認を行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		支援中の食事提供は行っていないが、利用開始前のアセスメントの際には保護者様に確認を行っている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事業所内で回覧し周知・情報共有を行う事で、再発防止に努めている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1回以上の研修を行い、虐待防止を徹底している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に保護者様に説明を行ったり、個別支援計画に記載した上で説明を行ったりしている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」石川県庁校

保護者等数（児童数）：4 回収数：3 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	1	1		保育園や幼稚園等との交流については行っておりませんが、祝日等に集団イベントを行い、他利用者の方々との交流を図っております。機会がありましたら、ぜひご参加頂けたらと思います。



	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			2		祝日等に行っております。また、グループワークの様子や防災訓練の様子等を、ホームページ上のブログにて公開させていただきます。今後も事業所の活動の様子について保護者様を含め多くの方に知って頂ける様に情報発信に努めて参ります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3					ありがとうございます。お子様の特性に合わせた計画に沿って支援を行っており、結果として多くのお子様は、通所を楽しみにして頂いている事は、職員一同とても嬉しく感じております。今後も、みなさんに通所を楽しみにして頂けるよう努めて参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。